

令和2年度 入学試験問題

総 合 問 題
(国際地域学科 地域協働専攻)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開かないこと。
- 2 この問題冊子は表紙を含めて10ページです。
- 3 解答用紙は4枚、下書き用紙は2枚、計算用紙は1枚です。
- 4 受験番号は、すべての解答用紙の指定欄に記入すること。
- 5 解答は、横書きとし、解答用紙の指定欄に記入すること。
- 6 解答に字数制限がある場合は、句読点等も1字分とすること。
- 7 問題冊子・下書き用紙・計算用紙は、試験終了後、持ち帰ること。なお、いかなる理由があっても、解答用紙以外は受理しません。
- 8 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。

問題 1

次の文章（英文と和文が混合された文）を読み、後の問に答えよ。（100点）

2003年に欧州全域を襲った壊滅的な熱波は数万人の死者を出したと推定されている。多くは身体の不自由な高齢者で、慢性疾患を患っていた例もあった。このような影響は高齢者や病人にとどまらなくなるだろう。気候変動に伴ってこうした極端気象が増えつつあるからだ。温暖化は人命を直接脅かすだけではない。数十億時間分の労働が失われ、感染症拡大の条件が整い、作物の収穫量が減ることにもなる。このようなことが、最近出された報告書に述べられている。

この報告書は2018年12月に *Lancet* 誌に発表されたものであり、世界保健機関（WHO）や世界気象機関（WMO）と協力している国際研究組織の連合団体「ランセット・カウントダウン」の最新の発見をまとめたものだ。この団体は気候変動による健康への影響と各国政府の気候変動への対応を追跡している。

(ア) 「気候変動は世界中のすべての個人、すべての集団に影響する。影響を免れる国は1つもない」と、ランセット・カウントダウンの代表でこの報告書を多数の研究者と共著したワッツ（Nick Watts）はいう。「以前から実際に影響が出ている」。

同報告書によると、世界で数百万人が高温に関連する病気になったり死亡したりするリスクにさらされており、特に (イ) 欧州と地中海東部の人々が影響を受けやすい。これらの地域では都市部に住む高齢者が多いためだ。65歳超の高齢者は特にリスクが高い。心臓病や糖尿病などの慢性疾患を抱えている人も同様である。図1（4ページに掲載）の気温変化の平均値を見ると、居住地域の値は世界全域の値の2倍を超える。例えば2016年の場合、0.3℃に対し0.8℃だ。

〈中略〉 2000～2017年は1986～2005年と比較して、ある1人が1年間に熱波を経験する日が1.4日増えた。大きな差には思えないかもしれないが、「75歳の腎疾患患者は3～4日の熱波には耐えられるだろうが、5～6日となると命を落とす恐れがある」とワッツは指摘する。

Sweltering^{注1)} temperatures also affect productivity. A staggering^{注2)} 153 billion hours of labor—80 percent of them in agriculture—were lost to excessive heat in 2017, the new report found, with the most vulnerable^{注3)} areas being in (ウ) India, Southeast Asia, sub-Saharan Africa and South America. The first stage of heat's impact is discomfort, says report co-author^{注4)} Tord Kjellstrom, director of the Health and Environment International Trust^{注5)} in New Zealand and a consultant on environmental and occupational health. But there comes a point at which it is simply too hot for the body to function. For example, sweating heavily without replenishing^{注6)} water can result in chronic kidney^{注7)} disease, Kjellstrom notes. News reports have documented farm workers in Central America dying from kidney problems after years of working in the hot fields. Richer countries such as the U.S. may avoid the worst effects because of better access to

drinking water and, in the case of indoor work, airconditioning. But these solutions can be expensive, Kjellstrom says.

さらに、間接的な影響がある。例えば温暖化につれてデング熱やマラリア、コレラを媒介する生物の生息域が広がっている。ネッタイシマカとヒトスジシマカが媒介するデングウイルスに関する「媒介能」（媒介生物による病原体の伝播がどれだけ起こりやすいかを示す指標）は2016年に過去最高に達した。^(エ) 1980年代から2010年代にかけ、コレラ菌を含むビブリオ属の細菌の生息に適した海岸線の割合が、バルト海沿岸では24%、米国北東部では27%増えた。アフリカの高地では、マラリアを引き起こす熱帯熱マラリア原虫に適した環境が1950年代から2010年代にかけて21%近く増えた。

気候変動は食料供給も脅かす。現在は地球全体で見れば世界人口に十分な食物を生産できているが、極端気象の結果として30カ国で作物の収穫量が減っていることが今回の報告書で示された。

「総じてこの報告書は、気候変動の展開と人間の健康に生じうる影響について非常に重大な懸念があることを示している」と、ロンドン大学衛生熱帯医学大学院の環境変化・公衆衛生学の教授ヘインズ（Andy Haines）という（ヘインズは今回の報告書には関与していないが、以前のランセット・カウントダウンの報告書を共著している）。「問題は実際の影響に関する十分なデータがないことで、特に最も影響を受けやすいと思われる低所得国のデータが欠けている」という。

報告書は明るい展望も示している。2015年、WHOが調査した40カ国のうち30カ国において、気候変動による健康問題に対処する計画があり、65%の都市において、公衆衛生基盤への脅威に対応するためのリスク評価を実施済みまたは実施中だった。だが健康問題への対処に関する全世界の支出は、気候変動全体への対処に関する総支出の5%にも満たない。さらにその額は気候変動抑制に関するパリ協定（2020年実施予定）で誓約された水準に達していない。

Among the biggest steps countries can take to mitigate^{注8)} these health effects are phasing out coal-fired power and shifting to greener forms of transportation, Watts says. Electric vehicles are making inroads in^{注9)} places, he notes—and “active” transport, such as walking or cycling, is also important. Tallying^{注10)} up the costs of climate change, Watts says, makes it clear that “our response or lack of response is going to determine our health over the next century.”

注1) sweltering：「蒸し暑い」。

注7) kidney：「腎臓」。

注2) staggering：「膨大な」。

注8) mitigate：「軽減する」。

注3) vulnerable：「影響を受けやすい」。

注9) make inroads in：「侵入する」「参入する」「入り込む」。

注4) co-author：「共著者」。

注5) trust：「企業合同」。

注10) tally：「計算する」。

注6) replenish：「補給する」。

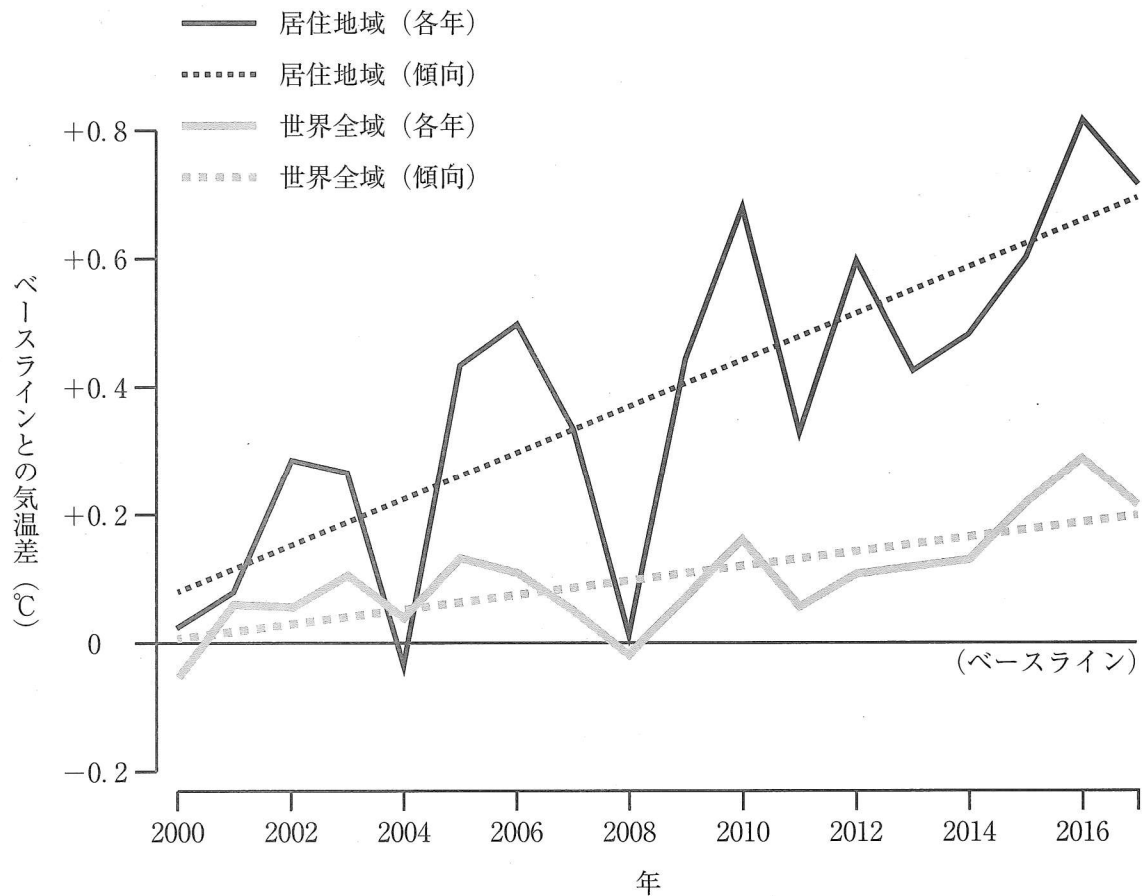


図 1. 2000 年以降の世界の夏場の気温変化。
 ベースラインは、1986 年～2005 年の夏場の平均気温を示している。縦軸はベースラインとの差であり、たとえば+0.2 とは、ベースラインよりも 0.2℃ 高いことを示している。黒色は居住地域（主として都市部などの人口密集地域）の平均気温を、灰色は居住地域を含む世界全域の平均気温を表している。実線は各年の値を、点線は傾向を示している。

問題本文の英文には、次の文献を用い一部を改変した。

Tanya Lewis, "Feverish Planet" *Scientific American* 320(3), 8-10 (2019).

doi:10.1038/scientificamerican0319-8.

問題本文の和文には、上記文献を翻訳した次の文献を用い一部を改変した。

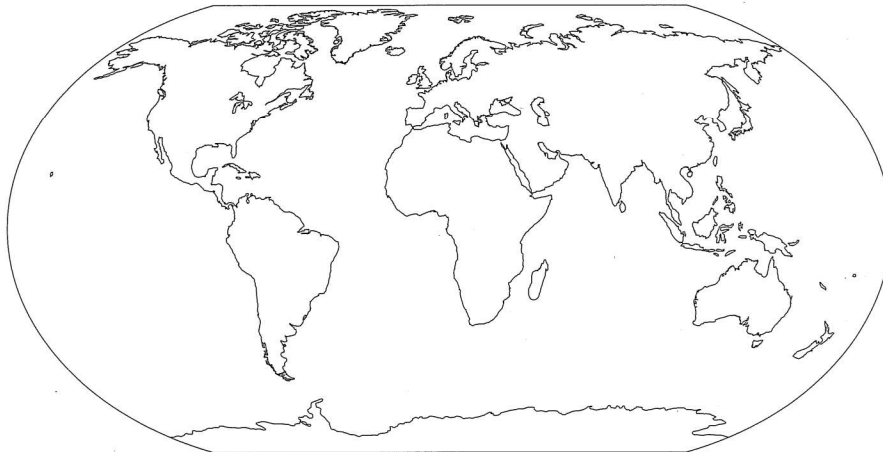
日経サイエンス「発熱する地球」2019年5月号 pp. 20-22.

図には、次の文献のFigure 2を用い一部を改変した。

Nick Watts et al., "The 2018 report of the Lancet Countdown on health and climate change: shaping the health of nations for centuries to come" *Lancet* 392, 2479-2514 (2018). doi: 10.1016/S0140-6736(18)32594-7.

問1 下線部(ア)にあるように、気候変動は世界中の人々に影響を与える。しかし影響の仕方は地域により異なる。下線部(イ)および下線部(ウ)の地域では、それぞれ、どのような地域の事情により、どのような影響があると述べられているか答えよ。(15点×2)

問2 下線部(ウ)にある sub-Saharan Africa とは、サハラ砂漠以南のアフリカのことである。その範囲を解答用紙の白地図の陸地部を黒く塗りつぶすことで示せ。(10点)



問3 図1において居住地域と世界全域の違いには、都市部の気温が周辺の気温よりも高くなる現象が関わっている可能性がある。この現象は何と呼ばれる現象か答えよ。(10点)

問4 図1の居住地域(傾向)の直線が、2006年に+0.3を、2012年には+0.5を通過しているとす。この直線が以下の式で表されるとき、 a と b の値を求めよ。

$$y = \frac{x - 2000}{a} + b$$

なお変数 x は年を、変数 y は気温(°C)を表すものとし、ベースラインを22°Cとせよ。たとえば図1において縦軸が+0.2のとき、変数 y は22.2となる。(15点)

問5 下線部(エ)について、仮に2010年代におけるビブリオ属の細菌の生息に適した海岸線の長さが、バルト海沿岸では米国北東部の2倍だったとする。1980年代におけるビブリオ属の細菌の生息に適した海岸線の長さは、バルト海沿岸では米国北東部の何倍か。小数第3位を四捨五入して、小数第2位まで求めよ。(15点)

問6. ワッツは、温暖化による健康への影響を軽減するために、各国が実行できる取り組みとして、本文中で二つのことを述べている。以下の①～⑦のうちから適切なものを二つ選び、数字で答えよ。(10点×2)

- ① 都市部から郊外へと移住していくべきである。
- ② 生産性を上げる対策をとるべきである。
- ③ 生産者が空調のある場所で働けるようにすべきである。
- ④ 経済の地域格差をなくしていくべきである。
- ⑤ 低所得国のデータを集めるべきである。
- ⑥ 石炭を燃やして発電することを、やめていくべきである。
- ⑦ 環境に負荷をかけない移動手段に変えていくべきである。

問題 2

次の文章を読み、後の問に答えよ。(100点)

ここでは、特に「^{こぶ}瘤取り^{じい}爺」の話に注目してみよう。あらすじは次のとおりである。

昔、右頬に大きな瘤のあるお爺さんがいた。ある日、木を伐るために山へ行き、雨風のために帰れなくなった。木の空洞で休んでいると、鬼の群衆がやってきて宴会を始めた。お爺さんはそこに躍り出て鬼たちの前で舞いを披露したところ、鬼たちがこれをたいへん喜んだ。
(ア) 宴会の折に再び舞いに来させるために、鬼たちはお爺さんの瘤を担保として捻り取り、暁になって去っていった。お爺さんは瘤がなくなったことを喜んで家に帰り、妻にこのことを語った。

さて、隣のお爺さんには左頬に瘤があった。話を聞いて自分も同じように瘤を取ろうと、木の空洞で待つと、鬼たちがやって来て宴会をした。鬼たちの求めに応じて、お爺さんが舞いを披露するが、これがたいへん下手であった。鬼たちは興ざめして「瘤は返す」と瘤を付けられて、左右の頬に瘤の付いたお爺さんになってしまった。

他人を羨むようなことはすべきではないということである。

よく知られた話であるが、南方^{注1)}はこの説話を特に取り上げて「類話はなはだ多し」(明治45年(1912)4月21日付高木敏雄^{注2)}宛南方書簡)と述べたことがある。実はこの「瘤取り爺」によく似た話は、世界中に見られるのである。例えば、次のアイルランドの民話が挙げられる。

昔、ノックグラフトンという村に、ラズモアという背中に瘤のある男がいた。彼は陽気で音楽の才があり人々に好かれていた。ある日、堀の土手で眠っていたところ、水面から妖精たちの歌声が聞こえてきた。「月曜日、火曜日」という歌詞を繰り返していたので彼は調子を合わせて「そして、水曜日も」と歌った。すると、妖精たちは彼を堀の底にある大広間へと運び込んだ。彼らはそこで踊ったり歌ったりしていた。妖精たちはラズモアの歌を気に入り、バターでできたノコギリで彼の瘤を切り落とした。たくさんのもてなしの後で、妖精たちの宴は終わり、ラズモアは眠った。起きてみると彼はまた堀の外の土手の上にいる。瘤がなくなったことを喜び、近所の人にこのことを語った。

ところで、村にはもう一人、背中に瘤を持った男がいた。ジャック・マデンというならず者で皆から嫌われていた。彼は嫉妬深い母親の助言で、ラズモアを真似て堀のそばで横たわった。妖精たちが「月曜日、火曜日、そして水曜日も」と歌うのを耳にして、彼は調子も合わせずに「木曜日、金曜日、土曜日、日曜日」と、わめいた。彼は堀の中に運ばれ、恐ろしい顔つきの妖精たちに囲まれた。妖精たちはラズモアの瘤を彼の背中の上に載せ、蜜蠟のよ

うに堅くこれを接着した。そして翌朝、背中に二つの瘤を付けたマデンが地上にいるのを母親が発見した。

このことは、嫉妬と品行の悪さの報いである。

いかがであろうか。私たちのよく知る「瘤取り爺」にそっくりではないだろうか。このように「瘤取り爺」によく似た話は、朝鮮半島や中国、モンゴル、トルコ、オーストリアなど世界中に見受けられ、『グリム童話』にも類話「小びとの贈り物」が載っている。「説話」というのはもともと、口頭で語られる「はなし」という程度の意味の言葉である。そして、こうした説話のなかには、不思議と世界中に同じようなものがたくさん転がっているのである。

〈中略〉

各説話を載せている文献の成立時期の前後関係に配慮しつつ、各説話の間に認められる「類似」性がどの程度のものかということ、南方は重視していたと読み取ることができる。「瘤取り爺」と「ノックグラフトン」であれば、(イ)とか、(ウ)とか、そうした類似性がどの程度かを分析する必要があると考えているようである。実際、「マンドレイク」、「さまよえるユダヤ人」、「西暦九世紀の支那書に載せたるシンダレラ物語」、「猫一疋の力に憑て大富と成し人の話」など、南方の説話に関する代表的な論稿の多くは、(エ)大陸の東西の異なる地域、民族、文化間に認められる説話や習俗、信仰の類似性や相似性に鋭く着眼して、その諸相を追究したものであった。この点に南方の説話学の一つの大きな特徴があると言えそうである。

〈中略〉

さて、南方が説話の類似性に着目していたということは、一見すると別段、特別なこととは思われないかもしれない。しかし例えば、〈中略〉 同時代に説話学の領域で活躍し、国文学研究のみならず国語教育にも大きな影響力のあった芳賀矢一^{注3)}などは、日本という国や、民族に認められる固有性や特殊性の抽出ということにかなり大きな関心があった。しかも、芳賀の説話学では日本について、「国史」以前の諸民族の流動や、大陸との交流について疑問を差し挟むことなく「純粹の日本」を規定しており、方法的にも問題のあるものであった。また、柳田國男^{注4)}についても「小生はもっぱら日本にていかなる変形を闕せしかを明らかにしたく考えおり候」（明治44年（1911）10月1日付、南方宛書簡）などとして、そもそも国際的比較研究を放棄していた。他方で、高木は先史時代の諸民族の流動性を洞察しつつ、国際的比較を重視して研究を行っていた。民族間の共通性や、普遍的要素の分析も丹念に行っており、この点に高木の説話学の一つの特徴があったと言える。しかし、南方の説話学と対照すると、高木の説話学は有史時代の日本の国家、文化、民族については統一的な結合を強固に保ち得ているという把握が前提とされていた。加えて、高木

もまた、日本という国や、民族に認められる固有性や特殊性の抽出ということにかなり大きな関心があった。

そのようなわけで、実は南方のように類似性に重点を置いた説話学というものは従来、日本の学界ではあまり行われてこなかったことなのである。少なくとも、このような研究は現代に至るまで、発展はしてきていないとすることができる。説話を比較するうえでは、その前提としてこれらが類話である必要がある。「瘤取り爺」と「ノックグラフトン」の説話のように類話であることによって、初めて比較研究ということが可能になる。このため、比較を行う前提として類似性や相似性が追究されることになる。しかし、ひとたび説話が類話として位置づけられ、比較研究にとりかかるとなると、個々の説話の固有性や特殊性を明らかにすることが目指され、南方のように類似性がどの程度かを明らかにするというような方向への議論は、従来ほとんどなされてきておらず、発展もしていないのである。つまり、類似性に注視した南方の説話学は、芳賀や柳田などの後世に大きな影響をもたらす研究者たちとは随分性質の異なるものであったし、現代の学界でもほとんど行われていない類のものなのである。しかし、人間の発想の有限性を前提として「偶合」をも射程に収め、類似性や相似性の分析に価値を置いていく南方のような説話学の在り方は、南方自身も述べていたように、類話を共有している各共同体や、それらの共同体に属する人々の心の在り方に、それぞれどのような類似性や相似性が認められ、そしてそれが、類似した説話が語られていることとどのように関係しているのかという問題、あるいは人類が何故、各地域で類話を共有しているのか、人類にとって説話にはどのような意義や価値があるのか、といった説話をめぐる本質的な問題を提起するものであり、現代の学界が見直すべき重要な学問の在り方であると言えるだろう。

- 注1) ^{みなかたくまぐす}南方熊楠 (1867～1941年)，生物学者・民俗学者。
注2) ^{たかきとしお}高木敏雄 (1876～1922年)，神話学者。
注3) ^{はがやいち}芳賀矢一 (1867～1927年)，国文学者。
注4) ^{やなぎたくにお}柳田國男 (1875～1962年)，民俗学者。

問題本文には、次の文献を用い一部を改変した。

杉山和也『南方熊楠と説話学』（平凡社）2017年

問1 1910年出版の『遠野物語』は、日本の説話研究の歴史における記念碑的な名著とされる。その著者の名前を本文中から探し出し、フルネームを漢字で記せ。(10点)

問2 南方は他の学者たちと本文中にあるような意見の交換を行った。この意見交換の背景には、1911年(明治44年)～1912年(明治45年、大正元年)当時の世界の中で日本が置かれていた状況が関係しているものと推測される。1911年～1912年における状況を表すもっとも適切なものを以下の①～⑤のうちから一つ選び、数字で答えよ。(10点)

- ① 世界を植民地化しつつある欧米列強に日本が開国を迫られ、それといかに対峙するかが緊急の問題となっていた時代。
- ② 陸軍の青年将校によるクーデター未遂事件(二・二六事件)を契機に、日本の国内政治への軍部の介入が深まっていった時代。
- ③ 中国において、欧米列強による植民地化の動きや日本との戦争による巨額の賠償金をきっかけに革命(辛亥革命)が起こり、その対処をめぐる、日本国内の世論が分かれていた時代。
- ④ バルカン半島でのオーストリア皇太子暗殺を契機として勃発した世界大戦に参戦する一方、日本国内では自由主義・民主主義を推し進める動きが高揚していった時代。
- ⑤ パリ不戦条約やロンドン海軍軍縮条約を日本を含む多くの国が批准し、国際平和の兆しが見えた一方で、日本国内では軍縮条約をきっかけにした軍部内の争いや総理大臣の暗殺事件が起こった時代。

問3 下線部(ア)について、鬼がお爺さんの瘤を担保としたのは、瘤の価値に関して鬼がある考えを持っていたからだと推測される。どのような考えか、50字以内で述べよ。(15点)

問4 「瘤取り爺」と「ノックグラフトン」の類似点として、どのようなことがあるか。空白部(イ)・(ウ)を埋める形で二つ例を挙げよ。(5点×2)

問5 空白部(エ)に適切な大陸名を入れよ。(10点)

問6 (1) 南方熊楠の説話研究の特徴を、日本の説話研究の一般的な傾向と対比しつつ、200字以内で記せ。(30点)
(2) 著者が南方による説話研究の方法のどのような点を評価しているのかを80字以内で記せ。(15点)